

法と心理学会 公開研究会

法廷における
映像テクノロジーと
心理的影響

2010年9月16日(木)
午後3:00-5:00

慶應義塾大学三田キャンパス北館大会議室

共催 慶應義塾大学伊東研究室

後援 日本弁護士連合会

立命館大学R-GIRO「法と心理学」研究拠点

参加無料・通訳有

ニール・ファイゲンソン教授

「法廷における映像テクノロジー：
現在と将来の課題」

クィニピアック大学法科大学院

“Law on Display” (2009) 著者

ジェイヒュン・パク准教授

「模擬陪審の判断に対する
映像テクノロジーの影響」

ニューヨーク市大学バラク・カレッジ



Law on
Display

The Digital Transformation
of Legal Persuasion
and Judgment

NEAL FEIGENSON and CHRISTINA SPIESEL

問い合わせ先：成城大学法学部・指宿研究室

Phone: 03-3482-9709 (研究室直通)

makoto.ibusuki@nifty.com

参加申込先：法と心理学会公開研究会事務局

lawpsy@aol.jp